

二〇二三番

さ寝ねそめて くだもあらねば 白たへの 帯おび乞こ  
ふべしや 恋こひも過すぎねば

二〇二四番

万代よろづよに 携たづさはり居ゐて 相見あひみとも 思おもひ過すぐべき  
恋こひにあらなくに

二〇二五番

万代よろづよに 照てるべき月つきも 雲くも隠かくり 苦くるしきものぞ  
逢あはむと思おもへど